カルビーグループのDXロードマップ

2025年10月

Calbee

DX戦略の全体像



企業理念を実現しながら創業から100年を超えて成長する企業を目指して、 デジタル・ITを通じて「変革」を興す

2030ビジョン

- ✓事業環境変化およびデジタル化 の進展や情報流通の高速化に対応。
- ✓現場活動

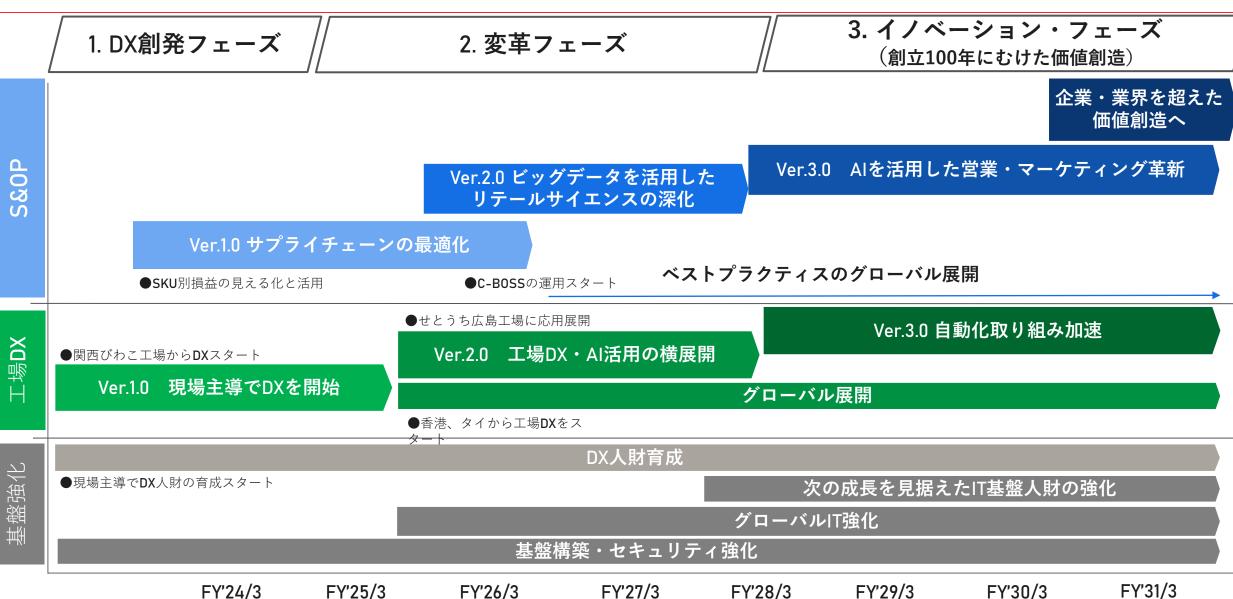
(生産・物流・営業・商品開発等) のデジタル化で得られる知見の スピーディーな活用。



※1 S&OP: 「Sales & Operation Planning」の略称

2030年に向けたDXロードマップ





& Beyond

S&OP (バリューチェーンの創出価値最大化)



2026年3月期に、今後の利益成長に資する「C-BOSS | (調達~供給までのサプライチェーン効率化システム)の本格運用を実現させる

- SKU別、得意先ごとのSKU別の損益可視化ツールを活用した収益改善活動を継続
- DXを活用したデータドリブンの迅速な意思決定プロセスにてサプライチェーンの効率化を進める
- 更なるバリューチェーンの最適化を目指して、マーケティングや営業の変革を促進する機能を検討

SKU別損益可視化 損益可視化 得意先別損益可視化 収益改善活動 SKU数の適正化 SCM最適化ツール構築 バリューチェーン 業務フロー変革

チェンジマネジメント

最適化

バリューチェーン最適化システム (C-BOSS)※ マーケティング戦略 اللبيا マーケティング 供給 営業 C-BOSS 定番/ 生産キャパシティ 特売需要 製造経費 調達 (AI需要予測連携) 間接費 経費計画 輸送ルート/費用 **在庫キャパシティ/費用** ばれいしょ収量 原料歩留

※ C-BOSS: 「Calbee Business Optimization Simulation System」の略称

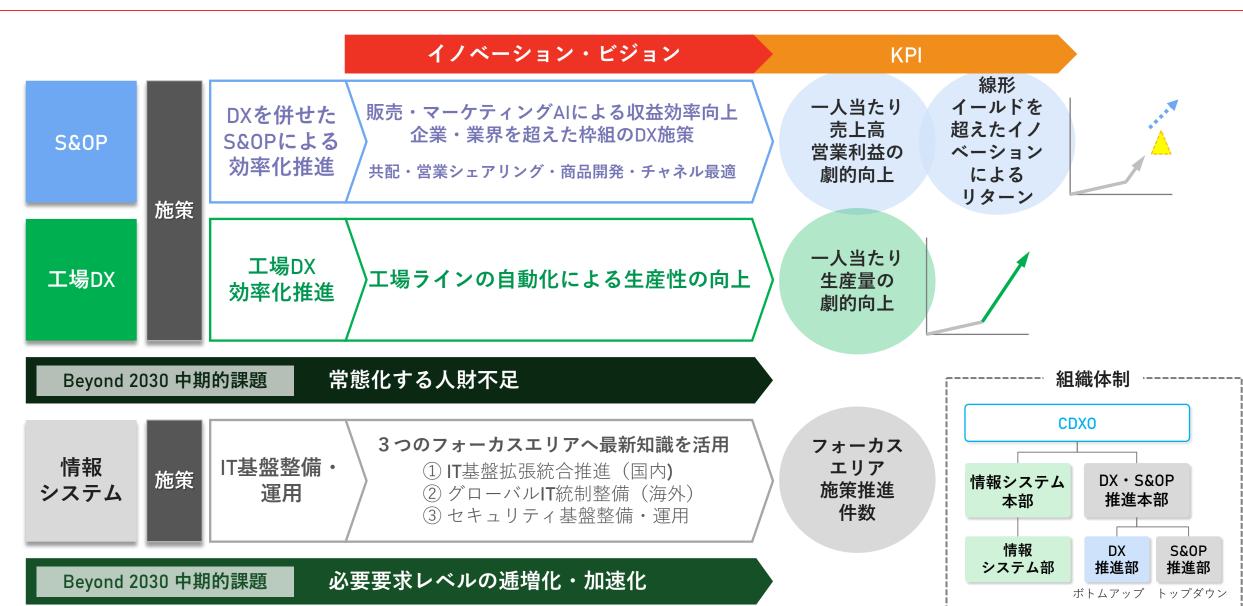
2030年に向けた情報システム方針・施策



	経営方針	IT方針	主なIT施策
围	量から質へ	・2030年、それ以降も安定利用できる IT事業基盤・業務効率化のため、データ活用の基盤整備(国内)	事業基盤としてのIT基盤整備(含セキュリティ) 年数を経過したシステム刷新も含む
			効率化・DX推進(データレイク・活用基盤)
大 無	売上構成比40%超へ	・グローバルのカルビー流IT統制 (国内と現地の知見)・グローバルデータ基盤と コミュニケーションIT基盤・セキュリティ対応	アプリ、インフラ データレイク・基盤とコミュニケーション基盤
			グローバルでのセキュリティ
			グローバルIT統制の枠組みと体制構築
新規事業	売上構成比10%へ ・「アグリビジネス」 ・「食と健康」	クラウド・SaaSも活用した安全・円滑な 導入および運用	新規事業迅速立ち上げに向けたIT支援 (ガイドライン・体制整備)
			国内グループ会社IT支援 (馬鈴薯・甘藷事業のIT基盤と運用体制)
	共通基盤(人)	IT部門と事業部門の両方にIT人財を配置	DX推進のためのIT人財を事業部門と共に育成

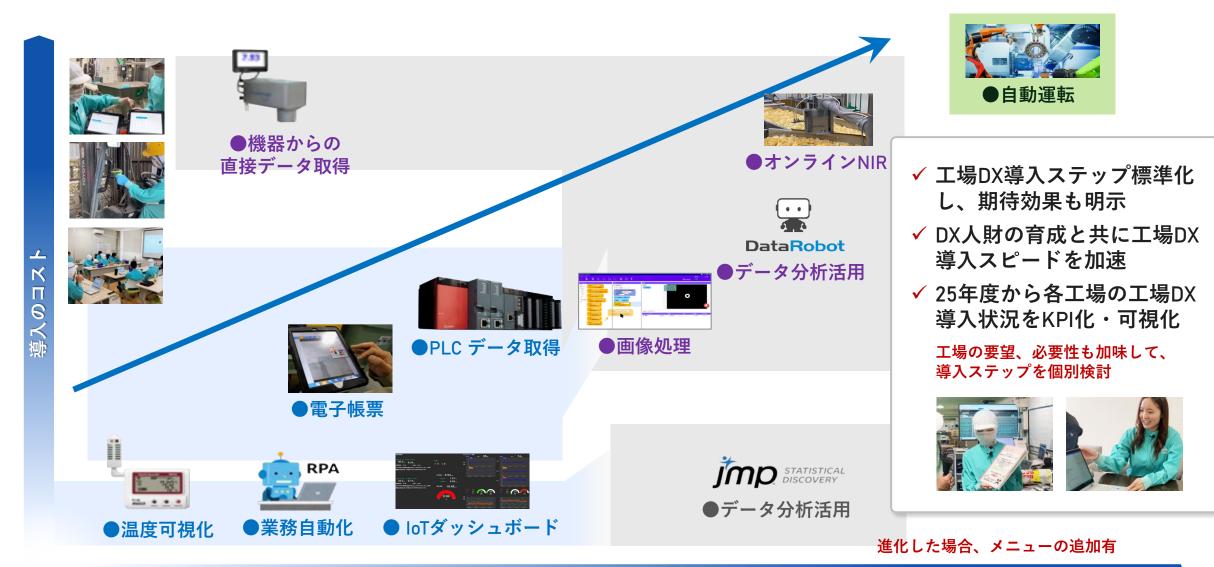
DXの中長期ビジョン





工場DX(生産性向上・働き方改革)の標準導入ステップ



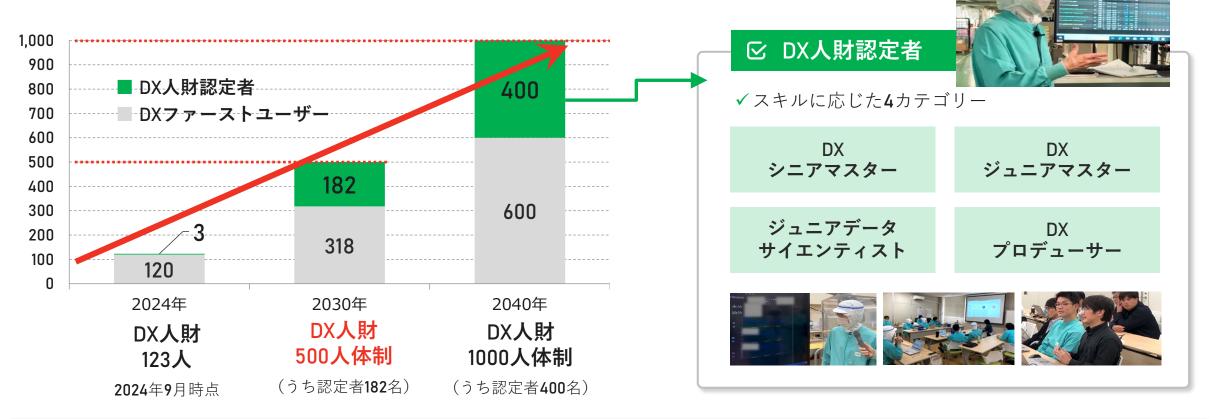


導入の難易度

2030年に向けたDX人財の育成プラン



2030年度に500名のDX人財を目指す



工場DXの推進・工場DX人財の育成を目的として 「AIアカデミー」 を2024年4月に西日本で立ち上げ 選定メンバーの活動期間は2年 ▶2025年度には東日本にも拡大予定

掘りだそう、自然の力。

